

(4) 水道としては勿論經濟上出來得限りの負擔を覺悟して前述の如き設備を爲す事。

(5) 消防用機械、又は火災報知機等の整備。

(6) 市民の防火訓練、心構へ、其の他。

以上の様な各種の點から総合的にそれ等が一體となつて災害の防止に當らねばならぬと思つたのである。

静岡驛視察報告

會員 佐藤慶次*

保線事務所長として 2 年間在勤し想出も新しく印象の深かつた静岡市の大災害は誠に哀悼の極である。焦土と化した市内を巡視して殊更らその感が深い。鐵道としての被害に就ても詳細の調査を蒐むるには尙時期早く、職員の不眠不休の努力の最中とて報告として誠に汗顔の至りである。單に自分の見た範圍と所見を述べて責を盡くこととする。

1. 静岡驛被害狀況

午前 11 時半頃新富町に發火し折柄の北西風に煽られ次第に鐵道線路に通り寶臺院を焼きたる後遂に線路を横斷し驛南を焼き南町鐵道官舎を類焼、一方火勢は寶臺院から東へ轉じ職員集合所西部信號所、倉庫、午後 4 時には運輸保線兩事務所を焼き更らにホーム上家より跨線橋を渡りて驛南口機關區關係、電力區關係を焼失せしむると共に驛前の保線區、通信區、驛講習室、貨物上家の大半を灰燼に歸し殘存せるは僅かに驛本屋購買部配給所、東部信號扱所を數ふるのみ、その焼失面積次の如し。

イ) 驛舎關係	9700 m ²	ニ) 庫所關係	2500 m ²
ロ) 應舎關係	2670 "	ホ) 病院其他	224 "
ハ) 機關區關係	3496 "	ヘ) 官舎	3476 " (80棟 54戸)
		計	192棟 22287 "

2. 列車不通並に應急措置

寶臺院附近に於て線路を越えたる猛火と煙との爲め午後 2 時 30 分東海道線は全く不通となれり。かくて市の繁華街 5000 戸を焼きたる後翌 16 日午前 6 時漸く鎮火せり。是より先午前 1 時 30 分焼け残りたる本屋貴賓室に保線事務所本部を移し應急復舊の計畫を樹て應援者の召集、資材の調達を圖り、軌條の彎曲せるもの、燒損枕木の更換、ホーム上家、跨線橋等の殘滓の整理を爲すと共に、西部信號所の燒失に依り挺子の操作不能となり爲めに關係轉轍器を釘付として漸く 16 日午後 0 時 45 分上下本線開通せり。引き続き線路の修理、營業設備の假復舊、現業各機關事務室の建築と着々と進行し、満目の燒野原に既に立ち上り居る姿を見て關係者各位の努力に對して唯感激を覺ゆるのみ。

* 鐵道技師 工學士 鐵道省工務局停車場課

3. 復 舊 計 畫

今後の復舊を如何にするか東海道線の主要駅としての静岡、既に現状を以てしては將來の躍進に備ふることはおろか現在に於て著しく行き詰りを呈して居る。實狀にして然も既に實現を豫約せられたる新東海道幹線との連絡を如何にするか、今次の災害をして災害に終らしむることなく、轉じて將來の福音となす所に大いに意義ありと思ふ。改良計畫樹立に當て現状に拘束せられぬ爲にはむしろ今回の火災は誠に好機なりと云はねばならぬ。目下省に於ても是等諸般を考慮して鋭意大静岡驛を計畫中である。

4. 將來に對しての對策並に注意事項

1. 驛の火災による交通動脈に與ふる影響と對策

今次の火災の實狀より見るに東海道線は 15 日午後 2 時 30 分に不通となり翌 16 日午後 0 時 45 分迄殆んど晝夜に亙り閉塞せられたり。火災によりかく長時間に亙り鐵道幹線の停止を見たる事尠きものと思ふるも、是が影響の及ぶ所の重且つ大なるを思ふとき、將來に對し充分の用意と對策とを講ぜねばならぬ。次に二、三私見を述べて御參考に供したいと考へる。

2. 交通幹線より見たる驛の防火

一市一町の火災の損害は云ふも更なるも國の全體より見る時には一局所的問題なり。然るに之により鐵道施設、驛の罹燒するやその影響は一局所に止らず國の動脈の切斷となり、之により蒙る有形無形の損害は由々しき問題なり。勿論市町村の復舊についても資材の輸送その他に影響ありとは云へ市町村又は自治機關の消防組織も今次の如く發火、飛火の續々と起り來るが如き場合に於ては自己の財産、市町村より見ての重要建築物に對しての關心、努力に較ぶれば驛それ自身の消防を重しとする觀念も認識も不足せる事は明かなり。又之を強要することも實現性に乏しきものと思へらる。之を以て看れば鐵道は鐵道の手にて防護することは當然にして又義務なりと信ず。

現在に於ても重要驛に於ては防災組を組織し消防器具を有すれどもその設備、その組織に就て決して完璧を期し難き實情にあり。

3. 組織の確立に就て

組織の確立に就ては茲に省略するも要は形式に捕はれず、かゝる災害に直面して他に重要な責務と活動を必要とする者を含まず、専念之に従事し得るものを以て組織し置くこと、並びに平素の訓練に充分の用意を必要とす。

5. 設 備 の 完 璧

(1) 今次の實情よりするもガソリンポンプ 1 臺を以て保線従事員必死の防護に勉めたるも火焰の動き著しく如何ともなし難き實情よりして、是が整備は最も必要にして鐵道の建物は鐵道の防護に依りて全きを期する要あり。

(2) 消火栓又は貯水槽

今回静岡市の消火栓は相當數ありしも殆んど全部を同時に開栓したる結果管末に於ては殆ど水量、壓力、共に不足せり、驛に於ても驛前に消火栓を若干保有せるも前述の如く信頼し得ず。且つ構内に於ては全く其の設備を缺きたり。機關車或は客車給水のための貯水槽あり水栓あり、之を利用しての消火栓パイプの用意、或は溢水を空地に溜水して以て非常時に對應することも考慮の餘地あり。

6. 建物の整理、空地又は餘地の必要

經費の關係等により鐵道用地を極度に利用する結果、空地或は餘地を残さず、爲に消防ポンプの通行し得ざる爲、火の移るに委したる如き考慮の餘地あり。静岡方内に於ても見られたるも、尙空地に植樹を爲し一つの防火線を設置するの要ありと認む。

7. 建造物の耐火性

耐火性の構造物としては驛本屋(待合室、驛長事務室)のみにして是は鐵筋コンクリート造りにして空地の關係あるも殆ど災厄を免れ即時復舊せり。總ての建造物を耐火性とするは理想的なるも是は言ふのみにて可能性少し、むしろ必然的にその要ありと認むるものを列擧して見るに次の如し。

1. 信號扱所

幹線に於ける構内の作業の確實、迅速は一に保安設備の能率によること大なるは言を俟たず、一種聯動裝置に於ける信號扱所の使命や大なり。一度是が燒損せる場合には頻繁線に於ける複雑なる線路の復舊を遅延し安全性は全く失はれ然も是が爲多大の人力と復舊に多額の費用を要するや明かなり。何れの建物と雖も燒失して差支なしと云はざるも一度び火焰鎮まれば直接列車の運行に支障ある建物として考へらるるものは少し、之を防護し耐火的ならしむることは緊急的の問題として將來の信號扱所に就ては其の位置の選定についても又其の構造に於ても充分耐火的のものたることの必要を強調したい。

2. 其の他の建物

跨線橋は一部木造、一部は骨組は古レール、木造なり。火は本屋側より木造ホーム上家を燒き跨線橋に移り裏口に延燒せるもの如く、木造部分は全く燒落し古レール造りは燒失せるも骨組のまま現存せり。燒落せし部分は其の直下の線路枕木に延燒し軌條を加熱し爲に軌條は彎曲し復舊に際し軌條交換、枕木交換をせるもの相當數に及びたり。又火焰の通路の媒介として見らるる跨線橋、並びにその燒失により他の損害を誘發せるが如きものに對しては充分その構造、並に材料の選擇、構造設計上の注意を要することを知る。

3. 線路關係

構内に於て燒失せる車輛は客車 1 輛、貨車 7 輛なりと云ふ。是が原因としては下り仕譯線にありしものにして火勢の爲西部の引上線に依り引出すこと困難なりしと石田踏切に於ける交通の混亂により之を逃出せしむる餘地なかりし爲ならん。出來得べくんば群線の末端を反對方向にも連絡の途を講じ置くことの良策なり思惟す。

8. 結 尾

近時空襲に對する防護の喧しく叫ばるる時今次の静岡の實例を見一層その必要の重大なるを感ずる。

鐵道としても單に燈火管制にのみ専念することなく、建造物の防護、列車運行の安全確保、に對して施設の改善、平常の訓練に更に努力の要あることを痛感した次第である。最後に今次の罹災に於て官舎或は自宅を燒かれ然も全く之を顧るの暇なく不眠不休、鐵道輸送の確保に全力を獻げたる従事員諸君に心から尊敬と感謝の念を禁じ得ぬことを記して擱筆する。